AICHI SCIENCE FESTIVAL 2026

サイエンスとものづくりの祭典

あいちサイエンスフェスティバル2026 @ComoNe

ComoNe連携プログラム

11.21 土
12:00~17:15
参加無料
入退場自由

会場：名古屋大学 東山キャンパス Common Nexus
（地下鉄名城線 名古屋大学駅 1番出口 直通）

＊事前申込優先イベントも、当日空きがあればご参加いただけます。

大階段
①12:15～13:00
②14:00～14:45
申込不要



色変わり実験と空気の実験ショー

【講師】サイエンスワールド（岐阜県先端科学技術体験センター）

ジュースの色が一瞬で変わっちゃう？目に見えない空気にも力がある？
子どもも大人も楽しめる大人気科学実験ショーをComoNeで体験しよう！

LOUNGE1
12:00～13:00
事前申込優先
定員：30名

サイエンストーク「化学実験室の成り立ちとグローバル・ヒストリー」
＜愛知学長懇話会 SDGs 企画委員会協力＞

【ゲスト】**菊池 好行**（愛知県立大学外国語学部 教授）



「歴史的実験室」という言葉を聞いたことはありますか？
100年以上前に建てられた化学実験室の実物・図面・写真から、日本と世界が当時どうつながっていたのか、実験室が人と人をどうつないでいたのかをお話いたします。

LOUNGE1
①13:45～14:30
②15:00～15:45
①13:45～
②15:00～
事前申込優先
定員：各回12人
（1組につき「小学生のお子さま2名＋保護者」を原則とします）

サイエンストーク「からだのゆらゆら、おともだちにうつっちゃう！？～大学の心理学実験を体験！～」

【ゲスト】**向井 香瑛**（名古屋大学高等研究院 / 大学院情報学研究科 YLC 特任助教）



わたしたちの体は、気づかないうちに、まわりの人と同じように動いていることがあります。おともだちと一緒に大学の心理学実験を体験して、体の「ゆらゆら」がうつるふしぎを探ってみよう！

LOAM HALL
13:00～14:00
事前申込優先
定員：80名

サイエンストーク「人口減少時代におけるまち再生」
＜愛知学長懇話会 SDGs 企画委員会協力＞

【ゲスト】**岡本 肇**（中部大学工学部 准教授）



空き家・空き地などの「まちの余白」の活用や公園再編、住民参加の事例から、人口減少時代のまち再生を考えます。さらに、3D都市モデルのVR体験を通じて、まちの将来像を市民同士でリアルに共有する方法を紹介します。

LOAM HALL
14:45～15:45
事前申込優先
定員：80名

サイエンストーク「医療者も「わからない」を体験してみた～ビールづくりから学ぶ患者・市民参画（PPI）～」

【ゲスト】**橋詰 淳**（名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 部長）

医療者が、専門外の「ビールづくり」に挑戦！醸造家の説明を聞きながら、わからない、質問しづらい、不安……そんな「専門家ではない側」の感覚を体験しました。この経験から、患者さんの声を医療や研究に取り入れる「患者・市民参画（PPI）」について、みなさんと一緒に考えます。

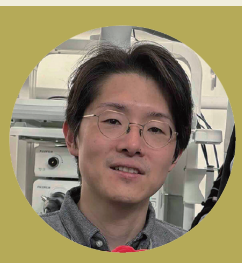


トーク終了後に、実際に製造したビールを会場にて販売します。
・販売時間　15：45～16：15
・販売場所　LOAM HALL 内ブース
・購入は20歳以上の方に限ります。
（身分証の提示を求める場合がございます）
・お持ち帰り限定です。ComoNe での飲酒はご遠慮ください。

LOAM HALL
16:15～17:15
事前申込優先
定員：80名

サイエンストーク「AIは研究者の右腕になれるのか？～「勘とコツ」を受け継ぐ生命科学実験の未来～」

【ゲスト】**青山 忠義**（名古屋大学大学院工学研究科 教授）



生命科学の実験には、経験で身につく「勘やコツ」が欠かせません。こうした熟練者の技をAIに学ばせ、ロボットと組み合わせることで、難しい実験を手助けする技術が生まれつつあります。AIが研究者の右腕となる未来を紹介します。

あいちサイエンスフェスティバル2026 その他の会場

12.12 土 13:00~16:30 ＠FUJIなごや科学館 生命館地下2階サイエンスホール

＜予告＞2026年ノーベル賞からみる最新研究講演会

※詳細は11月上旬頃、あいちサイエンス web 等にて発表予定

お問合せ
名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局
asf@t.mail.nagoya-u.ac.jp　TEL：052-747-6527

詳細はWEBをご覧ください（QRコード）

詳　細

主催：名古屋大学／共催：愛知県／協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク／後援：愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、豊橋市教育委員会、蒲郡市教育委員会、国立研究開発法人 科学技術振興機構、全国科学博物館協議会、中京テレビ放送株式会社